

大乘

DAIJO 法話

生かされている私



千葉・天真寺衆徒
にしはら たつや
西原 龍哉

私は仏跡巡りの旅が好きで、これまでにいく

つか印象に残っている旅があります。タイでは、朝もやの中、少年僧たちが列になり、バチを鳴らして托鉢たくはつをしていました。その初々うづうしい僧侶姿と真剣な眼差しに、こちらでも敬虔けいけんな気持ちになりました。バンコクの街中では、生きた魚を入れた袋や、スズメを入れたカゴが売られています。それを買った人は、生き物を川や空に放すのです。いのちを助けてあげることが功德くどくになると考えられているそうです。一般観光客も、

もちろん買うことができます。

一緒に旅した友人は、スズメ一カゴが100バーツと聞き、カゴからスズメを放ちました。すると、売った人から200バーツを請求されました。「さっき100バーツと言ったでしょ」と尋ねると、「100バーツは三羽の値段で、さっきのカゴには六羽入っていたから200バーツ」という説明です。隣で聞いていて、商売上手だなあと感心すると同時に、せっかくほどく施しをしようという人をだますなんてひどいものだ

と憤おこりを感じました。しかし、施しをしようと思いついても、だまされたとなればたちまち腹を立てる。これが私の偽らざる本心なのだと感じました。

さて、これはブータンに行った時の忘れられない思い出です。一人の女性に道端で声をかけられ、立ち話となりました。私が僧侶だと名乗ると、「私の父もお坊さんです」と話はずみ、「どうぞ、どうぞ」とお店の中に案内されました。そこは女性が一人で営業している小さなレストランです。お金を持っていなかった私は、「ノーマネー」と繰り返しましたが、「OK、OK」と促され席に座りました。周りを見渡すと、ブータン名物の焼きそばが並んでいます。しかし、そこにはお皿が見えないくらい真っ黒にたくさ

んのハエが群がっていました。

「とても食べられないな」と思っていると、なんとその焼きそばを「どうぞ食べてください」と差し出してくださったのです。初対面の私に食事を出してくださる優しさには感動しながらも、正直ゾツとしてしまいました。

「ありがとうございます」と言いつつ、腹を壊さないだろうか？」と心の中で葛藤が渦巻きます。しかし、笑顔でこちらを見守る女性を前に断ることはできず、エイツと飲み込むように焼きそばをいただきました。

その時、お釈迦さまのことが思い起こされました。お釈迦さまは、インドの郊外を遊行ゆぎやう中に、鍛冶屋の息子チュンダからキノコ料理を布施さ

れました。しかし、それを食したお釈迦さまは、下血し体調を崩されたのです。お釈迦さまは苦しみながらも、弟子のアーナンダに告げます。

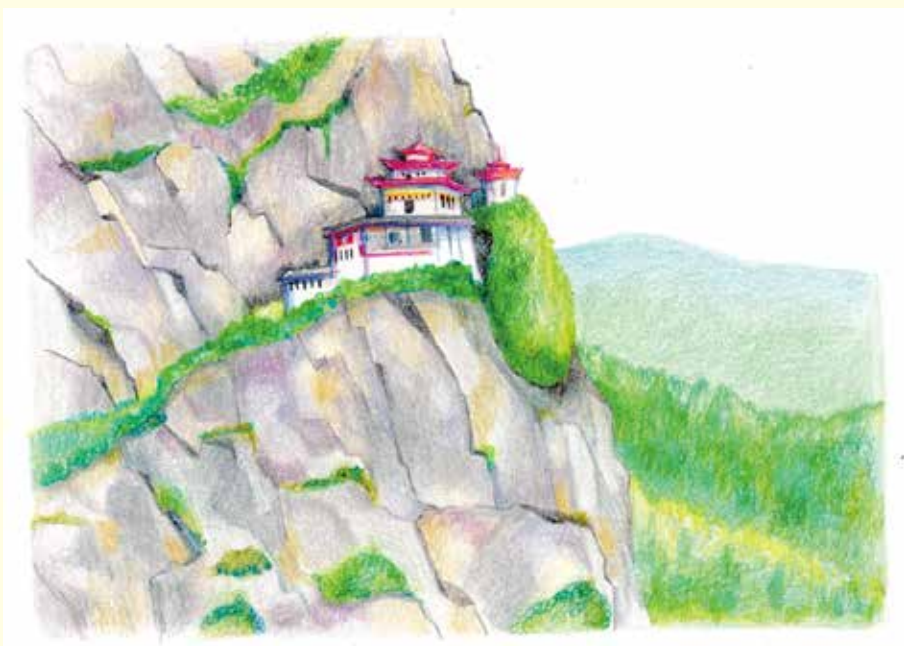
「私にとってこの生涯で二つの尊い供養の食事があった。一つは苦行をやめた時に村娘が施してくれた乳粥ちちがゆ。そしてもう一つはチュンダが施してくれた食事である」

高齢であったお釈迦さまは、弱ってしまった体に自らの死を予感していたのかもしれませんが、自らの死後にチュンダが非難を受けないようにと、いのちをかけて法を説き続けたのです。

お釈迦さま在世当時のインドです。冷蔵庫などあるはずありません。施されたキノコ料理が腐っていたのかもしれませんが、もしかすると腐っていることも承知の上で食されたのかもしれない

れません。お釈迦さまは、日頃から布施をされた物はどんな物でも喜んでいただかれました。ですから、チュンダの食事そのままいただくかされたのです。布施をいただく自らの姿勢に、食べ物で生かされる尊さをお示しくくださったのです。

一昨年秋、ご門主が示された「私たちのちかい」には、四番目に「生かされていることに気づき 日々に精一杯つとめます 人びとの救いに尽くす仏さまのように」とあります。お釈迦さまは、自らのいのちをかけ、見返りを求めず、衆生しゆじやうのためにはたらかれました。お釈迦さまの行いによって、私は生かされていることに気づき、その尊さを教えていただきました。それなのに、私はスズメさえ救うことができません。



カット 長井多美栄

それどころか、食べ物で生かされていることがわかっていながら、布施をしていただいた食べ物にまで好き嫌いをいう愚かさです。

仏教では縁起を説きます。すべての者は持つ持たれつの関わりをもち、誰ひとり一人では生きていけないことを教えています。私は、食べ物をお願い、多くのいのちを犠牲にして生かされています。多くの恵みの上に成り立つのちです。生かされているという気づきがあつてこそ、私も日々に精一杯つとめようと心がけることができるように思うのです。

阿弥陀如来の光にあつて初めて、無明むみやうの私が救われる道がひらかれます。南無阿弥陀仏とお念仏をいただいた身の有り難さを知らされ、感謝のお念仏とともに今年も過ごしてまいります。